

令和5年度サービス評価自己評価結果に係る改善策等一覧表

項目番号	項目	自己評価結果	改善が必要な内容	実施状況又は改善策	いつまでに
Ⅱ 2 (3)-①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	<input type="checkbox"/> 法人の人材育成基本方針により、職員個々の育成に向けた研修計画も整備されているが、職員会議等で周知する機会を設けます。	○2月末まで
Ⅱ 4 (1)-①	23 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所や利用者への理解を得るために、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けている。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後、10月に古川地域市民一斉清掃、援護寮行政区の集会所の清掃活動を実施しました。 <input type="checkbox"/> 行政区長に援護寮の地域貢献を行う意思を伝え、援護寮広報誌の地区内への配布、地区行事の案内等の情報提供により、地域行事への参加を増やすよう改善します。	○次年度より計画的に実施
Ⅱ 4 (1)-②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。 <input type="checkbox"/> ボランティアに対して利用者との交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	<input type="checkbox"/> 生活訓練の一環の園芸活動で2回、延べ2名のボランティアを受入れました。 <input type="checkbox"/> 「県北地域福祉サービスセンターボランティア受け入れ要綱」を定め、受入れの体制は整備されていますが、援護寮からの募集は行っていません。事業計画に沿って、はじめに援護寮行政区ボランティアの受入れに係る、援護寮での具体的なボランティア活動を検討・整理します。 <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士及び社会福祉士実習の受入れ希望があれば対応しています。	○2月中旬まで
Ⅱ 4 (3)-②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。 <input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。 <input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組みを積極的に行なっている。	<input type="checkbox"/> セーフティーネット機能として緊急時の受入れ体制は確保しています。 <input type="checkbox"/> 指定管理以外の地域コミュニティの活性化や専門的な情報の発信等、地域に還元する取組みは具体的に実施していません。	○2月中旬まで

令和5年度サービス評価自己評価結果に係る改善策等一覧表

項目番号	項目	自己評価結果	改善が必要な内容	実施状況又は改善策	いつまでに
Ⅲ 1 (3)-①	33 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足を把握する目的で、利用者会や家族会等に出席している。 <input type="checkbox"/> 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、利用者参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	<input type="checkbox"/> 援護寮における利用者会及び家族会はありません。 <input type="checkbox"/> なんでも相談(苦情解決)、サービス評価について、担当者を設置して実施しています。 <input type="checkbox"/> 施設サービスに関する利用者アンケートを毎月実施、結果は全職員で共有し、対応方法を検討し利用者に提示して承諾を得る機会を設定しています。検討段階で利用者の参画はありませんが、この決定方法に利用者の苦情も出ていないことから、現在の流れをを継続していきます。	<input type="checkbox"/> 現状変更なし
Ⅲ 2 (1)-②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	<input type="checkbox"/> 支援係会議を新設し、月1回の開催の中で支援内容及びスケジュールの共有を図ることにしました。 <input type="checkbox"/> 各種マニュアルとそれに伴う様式の見直しを行い、全職員が報告書等作成時に統一した情報を得るように改善しました。	<input type="checkbox"/> 支援係会議は2月より新設 <input type="checkbox"/> 随時